

茂庭台市民センター きのすな よせ みちのく 魅知国 絆 寄席

平成26年11月16日(日)午後2時30分 開演

を開催しました

魅知国絆寄席は、市民センターを会場として、地域の方々に本格落語を気軽に楽しんでいただこうと企画した当財団の主催事業です。一昨年度から始まり、今年度は茂庭台市民センターで締めくくりとなりました。



落語芸術協会仙台事務所長の白津守康さんによる「落語と寄席のおもしろゼミナール」で開幕。「割がいい」といった寄席に関する言葉の由来や「落ち」の付け方など、寄席を何倍も楽しめる話に、皆さん興味津々でした。



トリは、真打 桂米福師匠。落語「親子酒」で大盛り上がり。特に酒の飲みっぷり、美味しそうに塩辛をつまむ場面では、笑いと同時に驚きの声も上がりました。



続きまして「まつトミ」による漫才。茂庭台を取り入れた、エネルギーでバイタリティあふれるやり取りに会場は大爆笑。



最後は、出演者の直筆サイン色紙が当たるお楽しみ抽選会が行われました。番号が読み上げられる度に皆さん手元の抽選券に目を落とし、当選された方は大喜びでした。



本格寄席が手軽に楽しめるもあり、約130名のお客様にご来場いただきました。冬の到来を感じさせる寒い一日でしたが、会場は笑顔にあふれ、皆さん心まで暖かくなったようでした。

主催 公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団
公益社団法人 落語芸術協会 仙台事務所